

第三者評価結果

児童養護施設 吉敷愛児園

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	b
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	b
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	b
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○特別支援教育や学習支援ボランティアの導入等、子どもの発達段階に応じた学習支援がなされていません。</p> <p>○施設の立地条件もあって、十分な遊び場が確保されていないのが残念です。</p>	

(2) 食生活	第三者 評価結果 (abc評価)
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	b
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	b
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	b
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	b
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○嗜好調査や、月に一度の献立会議(子ども・職員別)を実施して、献立に反映されています。また、栄養士が、子どもからの意見を一覧表にして回答し、各家に掲示しています。加えて、手作りおやつや調理体験、栄養士が各家をまわって食習慣を身につけさせるなど、食生活に対する取り組みが充実しています。</p> <p>○中・高校生については、衣服を自分自身で選び購入できるよう支援がされています。</p> <p>○中高生以上に個室を用意できるよう努力されています。</p> <p>○居室によっては、整理整頓が不十分であったり、破損箇所が修繕されていない部屋がありましたので、改善が望まれます。</p>	

(5) 健康と安全		第三者 評価結果 (abc評価)
①	発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	b
②	医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	b
(6) 性に関する教育		
①	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○性教育についての年間計画を立て、各家に性教育担当者を置き、助産師を講師に呼んでの研修を行うなど、性教育に対する積極的な取り組みは高く評価されます。</p> <p>○発達段階に応じた健康の自己管理支援がなされていますが、ハサミ等危険物の管理に一部不十分な点が見られましたので、改善を望みます。</p>		

(7) 自己領域の確保		第三者 評価結果 (abc評価)
①	でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a
②	成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
①	日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	b
②	主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	b
③	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○お茶碗、お箸の個別性に配慮され、シャンプーについても、中高生は希望により自己購入できています。</p> <p>○金銭管理は、小遣い帳をつけることなどにより、身に付くよう取組がなされています。</p> <p>○成長の記録(アルバム)の整理が十分に行われていません。「本人以外に他の子どもも写っているので、写真を渡すことにためらいがある」という心配には、いわゆる個人情報保護の過剰反動的な面が感じられました。写真も、ただ渡せばいいというのではなく、職員とともに写真を整理しながら成長の過程を振り返るところに、一つの大きな意味があります。</p>		

(9) 学習・進学支援、進路支援等		第三者 評価結果 (abc評価)
①	学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
②	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
③	職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 ○公文学習を行ったり、学習支援ボランティアの協力を得たりして、基礎学力の向上と学習習慣の定着を目指した学習支援が行われています。
 ○施設の日中の人員や立地条件などの制約もあると思われませんが、必要となれば定時制への進学や進路変更もできるよう、検討されることを望みます。
 ○子どもの希望に応じ、アルバイト等、就労体験が積めるよう支援されていますが、施設が町中から遠い事もあり十分な取り組みとは言えません。今後の取り組みに期待します。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもが暴力・不適應行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	b
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	b

(11) 心理的ケア	第三者 評価結果 (abc評価)
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 ○「セカンドステップ・プログラム」を取り入れ、子どもの衝動的・攻撃的行動をやわらげる取り組みがされています。また、月毎に「暴力への対応」「子どもたちの思いを聴く」の綴りを活用し、施設内で暴力やいじめが生じないよう施設全体で取り組んでいます。
 ○心理的ケアが必要な子どもに対しては、複数の心理療法職員を配置し、自立支援計画書に基づき、児童相談所や施設内の他の専門職と連携した支援が実施されています。

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者 評価結果 (abc評価)
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	b
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	b
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 ○措置変更や措置延長を積極的に活用されています。
 ○措置変更に際しては、ファミリーソーシャルワーカーを中心に継続性に配慮した対応がなされていますが、定められた様式による文書引継ぎが行われていませんので、策定されることを望みます。

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者 評価結果 (abc評価)
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	b
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	b
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○ファミリーソーシャルワーカーを中心に、園や学校行事を家庭に連絡するなど、子どもと家族の関係調整に努めておられます。</p> <p>○児童相談所と連携し、面会・外出・一時帰宅等、親子関係再構築の支援にとりくまれています。退所後の親への相談などについても、より積極的に取り組まれることを期待します。</p>	

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	b
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	b
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	b
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	b
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○これまでは年に1回であった自立支援計画の見直しを半年に1回にするなど、支援計画を機能させていこうという意欲が見られます。</p> <p>○子どもの養育・支援に関する記録は整備されていますが、記録の管理や開示等の規定についても定めることが必要です。</p>	

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	b
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a

(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○「養育向上ネットワーク」を設置するなど、こどもの最善の利益を目指す取り組みが、職員の共通理解の下実施されてきています。</p> <p>○「子どもの思いを聞く」の綴りが設置され、3か月に一度、子どもの意向を把握する具体的な取り組みがなされていました。また、自治会も設置されていましたので、今後、より子どもが主体的に活動できるよう導いていただくことを望みます。</p> <p>○プライバシー保護に関する規程、マニュアル等がありませんでしたので、整備が望まれます。</p>	

(3) 入所時の説明等	第三者 評価結果 (abc評価)
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	b
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	b
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	b
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	b
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	c
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○入所時の説明については児童相談所と連携し、「要覧」により分かりやすく情報提供がなされていました。</p> <p>○苦情解決の仕組みについては要綱と手順が整備されていますが、子ども達には周知されていません。事前アンケートでも、外部の人に相談できることを知らない子どもが半数いました。各家は子どもが意見や苦情を述べやすい環境にはありますが、苦情解決の仕組みや、第三者委員の連絡先を各家に掲示するなどの取り組みが望まれます。</p> <p>○「子どもからの意見等に対する対応マニュアル」を策定することが必要です。</p>	

5 事故防止と安全対策

		第三者 評価結果 (abc評価)
①	事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	b
②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	b
③	子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○事故や感染症のマニュアルが整備されています。また、食糧や備品類などの備蓄リストも作成し、しっかりとチェックされていました。</p> <p>○ヒヤリハット事例などを収集し要因を分析する取り組みが不十分です。</p> <p>○急傾斜地等の災害危険区域に位置しているため、消防署や警察等と連携し、より具体的な訓練や、安全確保のための取組を整備していく必要があります。</p>		

6 関係機関連携・地域支援

		第三者 評価結果 (abc評価)
(1)	関係機関等の連携	
①	施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	c
②	児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	b
③	幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a
(2)	地域との交流	
①	子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	b
②	施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	b
(3)	地域支援	
①	地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	b
②	地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○職員が、PTA役員に立候補して就任し、学校との連携を密にされています。また、スポーツ少年団や子ども会に参加したり、施設の講堂を「スポーツチャンバラ」に提供するなど、学校・地域との連携や施設の開放に努められています。</p> <p>○市と連携して、デイサービス、ショートステイ、トワイライトステイの3事業を実施されています。</p> <p>○学習支援ボランティアの受け入れ等を行われていますが、受け入れマニュアルが未整備です。</p> <p>○必要となる社会資源や関係機関・団体のリスト化が望まれます。</p>		

7 職員の資質向上

	第三者 評価結果 (abc評価)
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	b
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○施設長自らが、職員一人ひとりの研修実績を把握し、積極的に研修参加を促しています。</p> <p>○外部の医師や教育関係者などの専門家から毎月1回コンサルテーションを受ける「養育向上ネットワーク」を設置されており、施設独自の取り組みとしても高く評価できます。</p> <p>○職員一人ひとりについての教育・研修計画書が策定されていません。研修委員会等を設置するなどして組織化・体系化しながら進められるとよいと思われます。</p>	

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者 評価結果 (abc評価)
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○施設長自ら、職員の意見を吸い上げながら施設を運営しており、事業計画も職員の参画のもとに策定されています。</p> <p>○法人や施設の運営理念が要覧等に記載されるとともに、理念を支える考え方が明示されており、リーフレット等でも周知されていました。</p> <p>○中・長期計画の策定と、各年度の事業計画への反映が望まれます。</p> <p>○事業計画を、子どもにも配布することが必要です。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者 評価結果 (abc評価)
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	b
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	b
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	c
④ 運営内容（決算内容等）の開示が適切に行われている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○施設長は、職員の資質向上や業務改善に意欲を持ち、そのために年3回の職員との個別面談を行っていることは、高く評価されます。また、組織の在り方の長短を熟知した上で改善に努められています。</p> <p>○経営状況の把握については、広報誌「惑星の里だより」に貸借対照表、資金収支計算書の開示が行われていますが、外部監査が行われていません。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者 評価結果 (abc評価)
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	b
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	b
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	b
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○年3回、施設長と職員が個別に話す場を設けて、職員の意向を反映させて改善に取り組んでいる点は、高く評価されます。</p> <p>○人事考課が行われていませんので、まずは実施に向けての検討を望みます。</p> <p>○「実習のしおり」を作成し、実習生を積極的に受け入れています。今後は、受け入れの基本姿勢の明文化や受入れマニュアル、種別に配慮したプログラムの策定等が求められます。</p>	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者 評価結果 (abc評価)
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	b
(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	b
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>○養育・支援についての標準的な実施を方法を文書化した「生活の道しるべ」を作成し、職員共通の認識による実施を目指されています。</p> <p>○このたびの第三者評価受審に際して、全職員が各項目の自己評価を実施しており、今後、検証や改善の成果が期待できます。</p>	